

トピックス No.1 「食中毒警報発令中です」

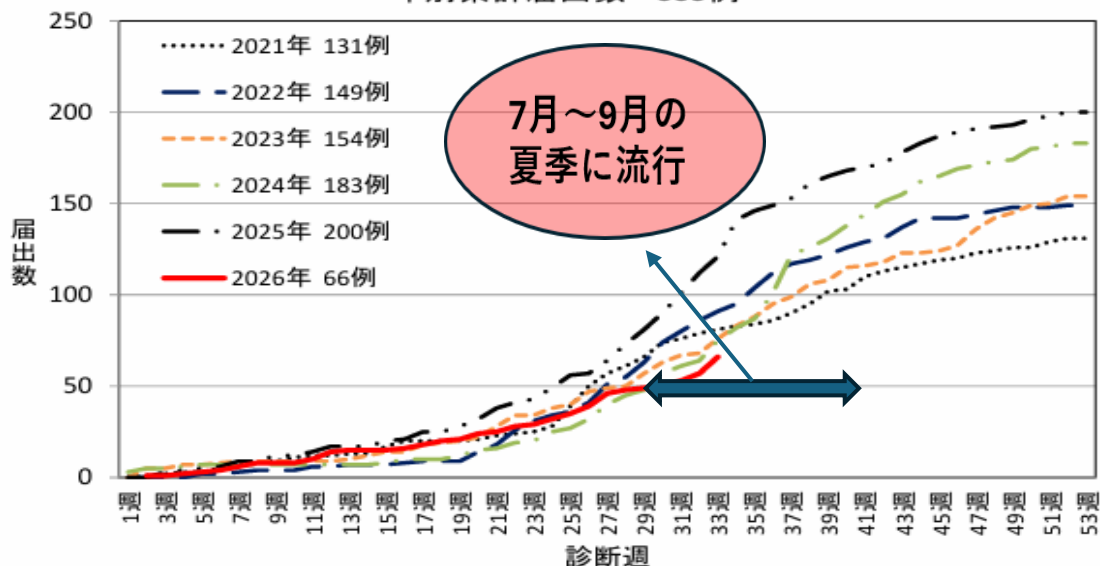
気温が高くなる今の季節は、細菌の活動が活発になり、細菌を原因とする食中毒が多く発生する時期です。腸管出血性大腸菌のほか、カンピロバクターや黄色ブドウ球菌といった細菌による食中毒発生の予防のためにも、細菌を「**つけない**」「**増やさない**」「**やっつける**」ことに注意しましょう。

ー腸管出血性大腸菌についてー

千葉県では、2026年第33週に県内医療機関から9例の届出があり、2026年の累計は66例となりました。全国では、2026年第32週に計143例の届出があり、2026年の累計は2,121例となりました。近隣都県では、東京都で32例、神奈川県で10例、茨城県で9例、埼玉県で3例の届出がありました。腸管出血性大腸菌感染症はベロ毒素（VT）を産生する大腸菌が原因で、牛や豚などの家畜の腸管内に生息しています。100個程度の少ない菌量で感染が成立し、人から人へ、または人から食材・食品へと感染が拡大しやすい特徴があります。

千葉県の発生動向

2021年～2026年第33週 千葉県の腸管出血性大腸菌感染症
年別累計届出数 883例



腸管出血性大腸菌感染症の症状

潜伏期間は2～10（平均3～5日）です。

腹痛



下痢



血便



吐き気



発熱



△こんなときはすぐに受診を！

- ・血便がある
- ・強い腹痛がある
- ・尿が出ない
- ・ぐったりしている
- ・意識がもうろうとしている
- ・けいれんがある
- ・水分がとれない

感染対策のポイント

- 食肉や未加熱の食肉調理品（ハンバーグ等）は中心部までよく加熱する（中心部が75℃1分間以上の加熱）
- 生肉を触った後の手指や調理器具はよく洗浄して消毒する
- まな板等の調理器具は用途別に使い分ける
- 生肉を取り扱う箸（トング）と焼きあがった肉を取り分けたり食べたりする箸（トング）を使い分ける
- 生肉等を冷蔵庫で保管するときは、ビニール袋や蓋つき容器に入れ、肉汁でほかの食品を汚染させない
- 加熱せずに食べる野菜や果物は十分に洗浄し、必要に応じて次亜塩素酸ナトリウム等で殺菌する
- 排便後や食事前は必ずせっけんで手洗いをを行う

△生肉に注意

海外でも生肉を食べることにより、重篤な食中毒（腸管出血性大腸菌O157等）になるリスクがあります！

旅先で加熱不十分な肉の喫食はやめましょう

海外旅行に行く際は、よく火が通った食べ物を選びましょう。

生の魚介類や生肉はできるだけ避けて、加熱が不十分な卵や乳製品にも注意が必要です。

【参考】千葉県「腸管出血性大腸菌（O157）による溶血性尿毒症症候群（HUS）の発生について」

<https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/press/ehec20250829.html>

【参考】厚労省「腸管出血性大腸菌Q&A」

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000177609.html>

【参考】JIHS「腸管出血性大腸菌感染症」

<https://id-info.jihs.go.jp/diseases/ta/ehec/index.html>

【参考】FORTH「海外での食べ物にご注意ください！」

https://www.forth.go.jp/news/20241101_00001.html

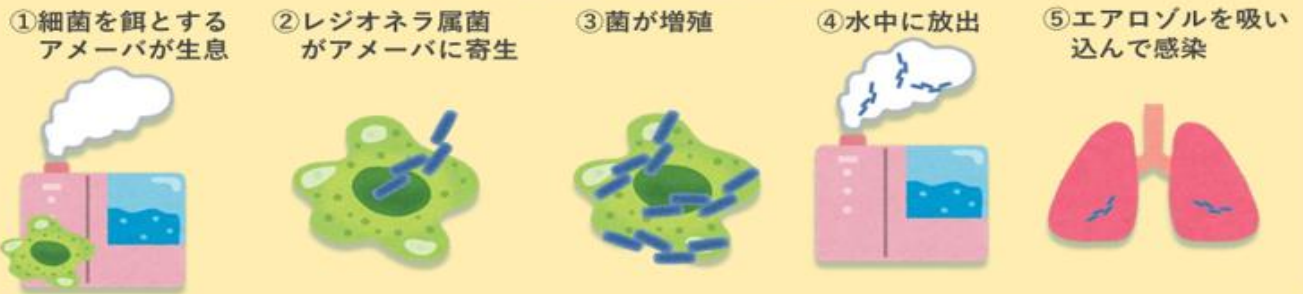
No. 2 「災害時に発生しやすい感染症に注意しましょう」

2026年8月13日に発生した令和8年8月千葉豪雨では、県内各地で浸水被害が発生しました。災害時には、汚染水の誤嚥による肺炎や創部感染などの感染症が増加します。特にリスクが増加する感染症として、レジオネラ症やレプトスピラ症、破傷風などが挙げられます。

ーレジオネラ症についてー

レジオネラ症は、土壌や水環境に広く存在するレジオネラ属菌による細菌感染症です。レジオネラ属菌を含んだエアロゾル等（細かい霧ややしぶき）を吸い込むことによる感染が主な感染経路とされています。また、温泉浴槽水や河川の水を吸引・誤嚥したことによる感染、汚染され土壌の粉塵を吸い込んだことによる塵埃感染などがあります。夏場は気温や湿度が高くなり、レジオネラ属菌の繁殖が促進されるだけでなく、浴場やプールなどの利用が増えるため、感染リスクが高まります。

ーレジオネラ属菌がヒトに感染するまでー



症状	肺炎型	2～10日 潜伏期間	3～5日
	ポンティアック熱型	1～2日 潜伏期間	2～5日
感染経路	①エアロゾルの吸入	…	レジオネラ属菌に汚染されたエアロゾル（細かい霧やしぶき）の吸入等によって感染
	②吸入・誤嚥	…	温泉浴槽内や河川で汚染された水を吸引・誤嚥すること等で感染
	③土壌からの感染	…	レジオネラ属菌に汚染された腐葉土等の粉塵を吸い込むこと等で感染
治療	マクロライド系、ニューキノロン系等の抗菌薬を使用 適切な治療がなされない場合、死に至ることがある		

レジオネラ症対策において重要なこと



1 菌を発生・増殖させない

浴槽の壁面や配管、追い炊き機能付きの風呂や24時間風呂などの循環型浴槽水、冷却塔、給湯設備等に付着するヌメリ(バイオフィーム)には、栄養分が豊富に含まれています。これらの場所は、消毒薬や紫外線が届きにくく微生物の増殖に適した環境です。菌の栄養源となるヌメリが生じないように、定期的に清掃・消毒を行きましょう。特に施設管理者の方は、衛生管理の徹底と水質検査の実施を心がけてください。

また、超音波式などの加湿器を使用する場合は、毎日水を入れ替えて容器を洗浄することが大切です。レジオネラ属菌は60℃では5分間で殺菌されるので、水を加熱して蒸気が発生させるタイプの加湿器は感染源となる可能性は低いとされています。

2 菌を吸い込まない

レジオネラ属菌が繁殖している可能性のある循環水は、気泡発生装置、ジェット噴射装置、打たせ湯、シャワーなどには使用せず、人に吸い込ませないことが重要です。

また、エアロゾルが発生する高圧洗浄機作業や粉塵が発生する作業、腐葉土を取り扱う園芸作業をする際にはマスクを着用しましょう。

【参考】厚生労働省「レジオネラ症」

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_00393.html

【参考】千葉県「レジオネラ症とその予防策」

<https://www.pref.chiba.lg.jp/eishi/koushuueisei/shisetsu/rejionera.html>

レプトスピラ症

感染経路

■豪雨や洪水後にネズミなどの尿から排出された病原性レプトスピラという物質に汚染された水や泥への接触により感染する

症状

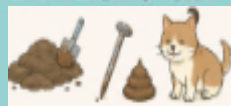
■発熱、頭痛、筋肉痛、倦怠感
■重症化すると黄疸、腎臓や肝臓の機能障害、呼吸困難を引き起こすことがある



破傷風

感染経路

■洪水後の復旧作業中に泥や土壌に触れる際、傷口から破傷風菌が侵入し感染する



症状

■初期症状として口が開きにくくなる(開口障害)、のどの違和感
■進行すると全身の筋肉が硬直し、痙攣や呼吸困難を引き起こす
■重症化すると致命的になる可能性がある

【参考】日本感染症学会「東日本大震災＝地震・津波後に問題となる感染症＝Version 2」

https://www.kansensho.or.jp/modules/topics/index.php?content_id=18

清掃作業をされる方へ

清掃作業時に 注意してください

①傷口からの感染



- 予防策**
- ・丈夫な手袋や底の厚い靴などを着用
 - ・長袖など肌が見えない服装を着用

ケガをした場合

傷口を流水で洗浄し、消毒しましょう。
特に深い傷や汚れた傷は破傷風※になる場合があるため、医師に相談をしましょう。

※ 破傷風は傷口に破傷風菌が入り込んでおこる感染症で、医療機関で適切な治療を行わないと死亡することもある病気です。

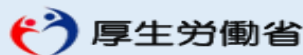
②土ほこりへの対応

土ほこりが目に入って結膜炎なったり、口から入ってのどや肺に炎症を起こすこともありますので、目や口を保護することが重要です。

- 予防策**
- ・ゴーグル・マスクを着用
 - ・作業後には手洗い

目に異物が入った場合

目を洗浄しても、充血が起きている場合などは医師に相談をしましょう。



No.3 「海外旅行から帰国後は体調チェックしましょう」

帰国時に、下痢や発熱などの体調不良がある場合は、空港や港に設置されている検疫所に相談し、帰国後体調不良が続く場合は医療機関を受診しましょう。その際は、渡航先、滞在期間、現地での飲食状況、渡航先での活動内容、動物との接触の有無、ワクチン接種歴などについて伝えることが大切です。

また、感染症の種類によっては、感染から発症までの潜伏期間が数日から1週間以上と長いものもあり、しばらくしてから体調が悪くなる場合があります。その際、医療機関を受診する際には、海外へ渡航していたことや海外でも行動を伝えるようにしましょう。

【参考】FORTH「海外へ渡航される皆さまへ」

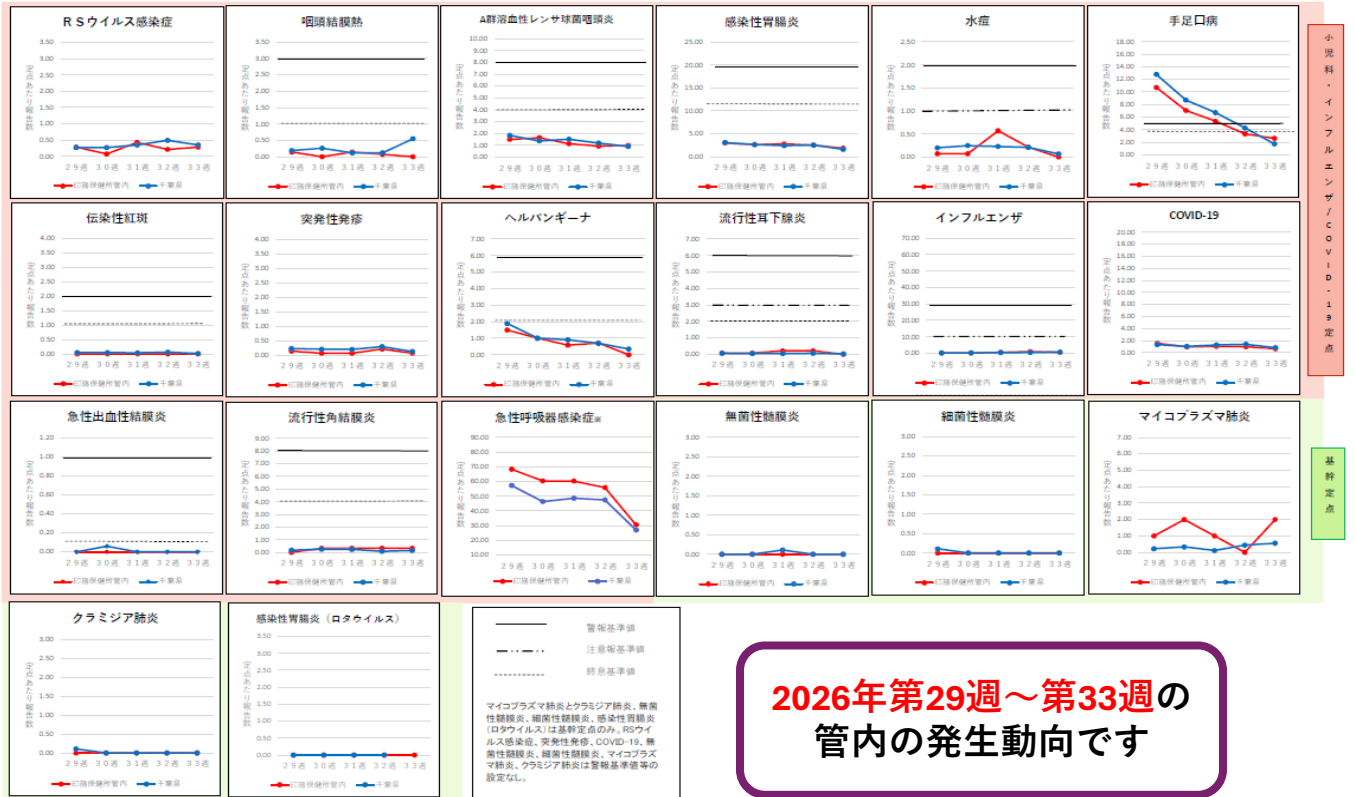
https://www.forth.go.jp/news/20220722_00001.html

【参考】厚生労働省「海外へ渡航される皆さまへ」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou18/index_00003.html

管内定点感染症情報

印旛保健所管内の感染症発生動向(最近5週)



～夏休み明けの感染症に 注意しましょう～

- 夏休みが終わり、子供たちが学校や幼稚園等に戻ると、感染症が流行しやすくなります。これは夏休み中に旅行やイベントなどで様々な地域に出かけた子どもや家族が、新しい病原体を集団の場に持ち込む可能性や、夏の疲れによる免疫が低下するためと考えられています。

【参考】日本小児科学会「学校、幼稚園、」認定こども園、保育所において予防すべき感染症の解説」

<https://www.jpeds.or.jp/general/prevention/yobo-kansensho/index.html>

管内全数感染症情報

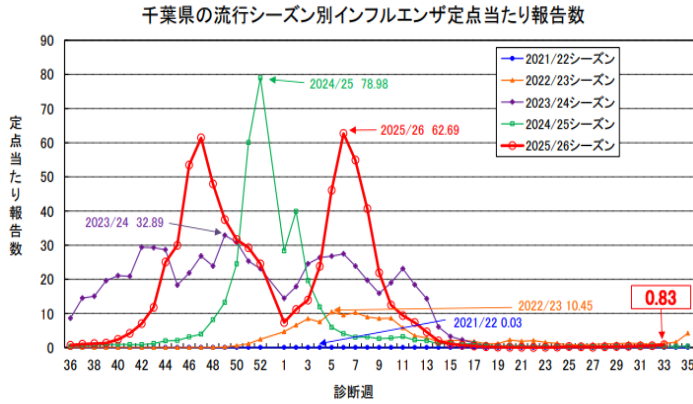
管内全数報告感染症情報(2026年) 29~33 週

2類感染症	今週	合計(年)
結核	8	71
3類感染症		
腸管出血性大腸菌感染症	3	6
4類感染症		
チクングニア熱	1	2
デング熱	2	4
日本紅斑熱	1	1
マラリア	1	2
レジオネラ症	3	8
5類感染症		
後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)	1	3
侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	4
梅毒	2	21
百日咳	1	29

インフルエンザ

～定点医療機関における感染症数の報告は**ほぼ横ばい**です～

図 1

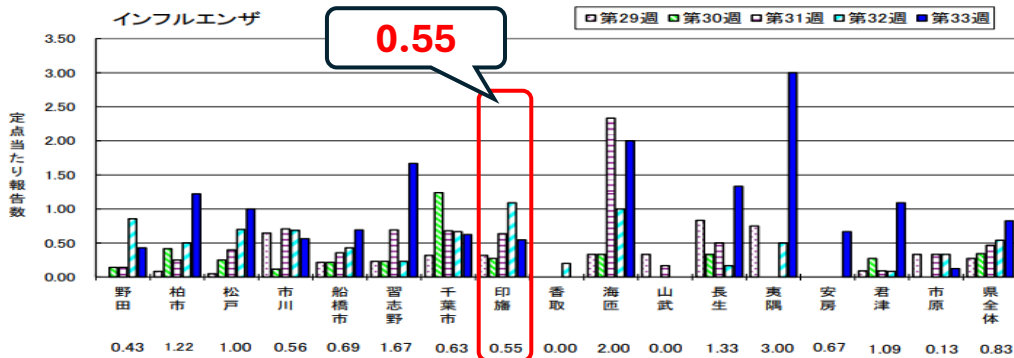


第33週の千葉県全体の
定点当たり報告数は
0.83(人)でした(図1)。

感染対策

- ①手洗い・手指衛生
- ②マスク・咳エチケット
- ③室内の換気

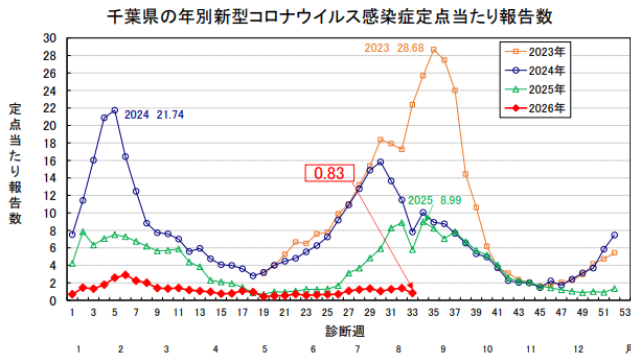
直近 5 週間の保健所別インフルエンザ定点当たり報告数



新型コロナウイルス感染症

～定点医療機関における感染症数の報告は**ほぼ横ばい**です～

図 2



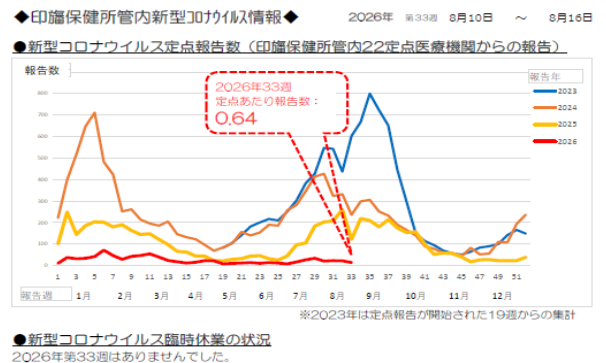
第33週の千葉県全体の定点当たり
報告数は**0.83(人)**でした(図2)、
印旛保健所管内の報告数は0.64(人)
でした(図3)。

新型コロナウイルス感染症の発生状況

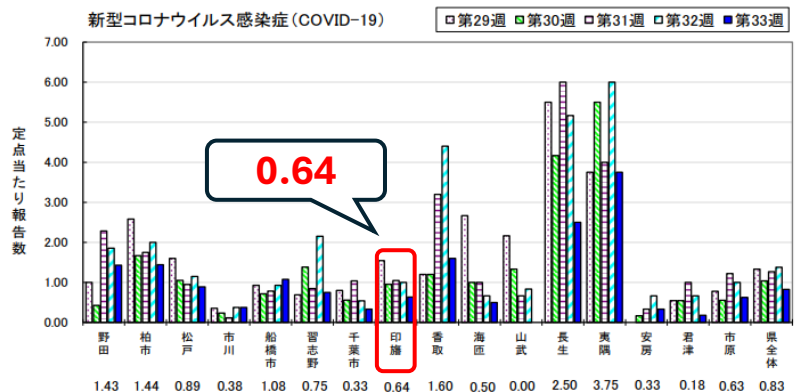


<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/202633covid19.pdf>

図 3



直近 5 週間の保健所別新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数



管内における感染症発生状況について、主に千葉県感染症情報センターの情報を基に作成しています